

## 平成 30 年度 ESD 活動支援センター活動状況概要

### 1. ESD 活動に関する相談・支援窓口

#### ■業務内容

地域の ESD 活動実践者・実践団体から、ESD 活動を実施するに当たって相談や支援の要請があった場合、必要に応じて地方センターと連携して適切に対応する。

開館日・時間 月曜日から金曜日 10時から18時  
(土・日曜日・祝日、12月29日から1月3日は閉館)

#### ■ESD 推進ネットワークの目標等における本業務の位置づけ

##### 目標 2 支援体制

成果目標③ ESD を推進する多様な主体が参画する官民協働プラットフォームとしての ESD 活動支援センター（全国・地方）の整備が進み、ESD 活動に対する支援体制が整備している。

ESD 活動を実践するに当たっての相談や支援の要請を電話及びメール、訪問等で受け付け、特定地域に関する事項等については、地方 ESD 活動支援センターと情報を共有し、連絡調整しつつ、対応を行った。

【相談件数】 219 件（2018 年 12 月末現在）

参考：155 件（2017 年 4 月～2018 年 3 月）

### 2. ESD 活動支援企画運営委員会の設置・開催

#### ■業務内容

『持続可能な開発のための教育円卓会議』や省庁連絡会議等の議論を踏まえ、ESD 活動実践者等の支援や ESD の普及・啓発などの方策について、ESD 活動支援企画運営委員会（以下「企画運営委員会」）において検討する。平成 30 年度は企画運営委員会を 2 回開催し、ESD 推進ネットワーク全体の活動の基本的方向を議論するとともに、全国センターの当該年度の事業計画及び事業報告案、翌年度の事業計画案等について、指導・助言等を受けてとりまとめる。

#### ■ESD 推進ネットワークの目標等における本業務の位置づけ

##### 目標 支援体制

成果目標② 企画運営委員会が、総合的な ESD 活動支援方策の検討やその実現に向けた全国センターへの指導・助言を行うための体制が整備されている。

#### (1) 第 1 回 ESD 活動支援企画運営委員会

第 1 回 ESD 活動支援企画運営委員会を以下のように開催した。

日時 平成 30 年 7 月 2 日 (月) 15 時 00 分～17 時 00 分

会場 日比谷図書文化館 スタジオプラス (小ホール)

議題

1. ESD 活動支援企画運営委員会の目的と役割について (報告)
2. 平成 29 年度 ESD 活動支援センター事業報告について (報告)
3. ESD 推進ネットワークの方向性について (審議)
  - ・ ESD 推進ネットワークの現状について
  - ・ 地域 ESD 活動推進拠点 (地域 ESD 拠点) の形成推進について
4. 平成 30 年度 ESD 活動支援センター主要事業について (審議)
  - ・ 全国フォーラム 2018 について
  - ・ ネットワーク可視化のタスクフォースについて
5. その他

(2) 第 2 回 ESD 活動支援企画運営委員会

第 2 回企画運営委員会を以下のように開催した。(予定)

日時 2019 年 2 月 7 日 (月) 13 時 00 分～15 時 00 分

会場 日本消防会館 第一会議室

議題

1. 文部科学省・環境省の関連施策及び来年度関連予算 (案) 等について
2. 平成 30 年度 ESD 活動支援センター活動状況概要について
  - (1) 平成 30 年度 ESD 活動支援センター活動状況概要 (報告)
  - (2) ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2018 について (報告)
  - (3) ESD 推進ネットワークの可視化タスクフォースの活動成果について
  - (4) ESD 実践に際しての SDGs の位置づけについて
3. 2019 年度 ESD 活動支援センター事業及びポスト GAP の ESD 推進ネットワークのありかたについて
4. その他

(3) ESD 推進ネットワーク可視化タスクフォース

① 可視化タスクフォースの設置と会議の開催

企画運営委員会に、ESD 推進ネットワークの可視化について検討を行う「ESD 推進ネットワークの可視化に関するタスクフォース」(以下「可視化タスクフォース」)を設置し、以下のように、3 回の会議を開催した。

第 1 回会議

日時 平成 30 年 9 月 27 日 (木) 9 時 30 分～12 時 00 分

会場 EPO ミーティングスペース

議題

- (1) これまでの議論の概要と今後の日程案について
- (2) 平成 29 年度地域 ESD 拠点との連携について [地方センター記入シート結果] 分析
- (3) 平成 29 年度地域 ESD 拠点年次アンケート結果概要及び個票分析

(4) その他

第2回会議

日時 平成30年10月16日(火)14時00分～17時00分

会場 EPO ミーティングスペース

議題

- (1) 平成29年度地域ESD拠点との連携について[地方センター記入シート結果](案)の確定に向けた検討
- (2) 平成29年度地域ESD拠点年次アンケート結果概要(案)の確定に向けた検討
- (3) 平成29年度ESD推進ネットワーク可視化(全国レベル協力組織・団体)報告(素案)の検討
- (4) 平成30年度全国フォーラム参加者アンケート票の検討
- (5) その他

第3回会議

日時 平成30年12月17日(月)14時00分～17時00分

会場 EPO ミーティングスペース

議題

- (1) 確認事項
  - ①平成29年度地域ESD拠点との連携について[地方センター記入シート結果]
  - ②平成29年度地域ESD拠点年次アンケート結果概要(最終案)
- (2) 調査結果に関する検討事項
  - ①平成29年度ESD推進ネットワーク可視化(全国レベル協力組織・団体)報告(案)
  - ②平成30年度全国フォーラム参加者アンケート結果(中間集計)
- (3) その他の課題
  - ①地域ESD推進拠点による支援活動分類について
  - ②ESDに関係する組織・団体の区分について

②会議内外の可視化タスクフォースメンバーとの意見交換により、以下の資料を作成した。

- ①平成29年度地域ESD拠点年次アンケート(平成30年実施)結果(案)
- ②平成29年度地方センター記入シート:地域ESD拠点との連携について(地方センター記入シート結果取りまとめ)
- ③平成29年度ESD推進ネットワーク可視化(全国規模の協力組織・団体)(平成30年実施)報告(案)
- ④ESD推進ネットワーク全国フォーラム2019参加者アンケート結果(案)
- ⑤平成30年度地域ESD拠点年次アンケート(2019年実施)(案)
- ⑥平成30年度地方センター記入シート:地域ESD拠点との連携について(案)

### 3. ESD活動支援センター(全国・地方)連絡会

■業務内容
-------

ESD 活動支援センター（全国センター）と地方 ESD 活動支援センター（地方センター）の実務上の連絡調整及び ESD 推進ネットワーク全体に関わる必要事項の ESD 活動支援センター（全国・地方）案を決定する場として開催する。

■ESD 推進ネットワークの目標等における本業務の位置づけ

目標 2 支援体制

成果目標③ ESD を推進する多様な主体が参画する官民協働プラットフォームとしての ESD 活動支援センター（全国・地方）の整備が進み、ESD 活動に対する支援体制が機能している。

以下 3 回の ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会（以下「連絡会」）を開催し、ウェブサイトの更新、後援名義使用承諾、ロゴマーク使用などの実務上の連絡調整を行った。また、全国フォーラムやその他全国センターの事業に関して意見交換を行い、ESD 企画運営委員会に提出する資料の作成に反映した。

必要に応じて、自然体験を提供する施設、国際協力、ユネスコエコパーク、ユネスコ世界ジオパーク等の活動について外部ゲストを招き、当該分野の ESD 関連の活動について学ぶとともに情報交換を行った。

第 1 回連絡会

日時 平成 30 年 5 月 10 日（木）10 時 00 分～17 時 00 分  
会場 日能研西日暮里ビル 6 階会議スペース

第 2 回連絡会

日時 平成 30 年 10 月 18 日（木）10 時 00 分～16 時 45 分  
会場 東京ウィメンズプラザ 視聴覚室

第 3 回連絡会

日時 平成 31 年 1 月 9 日（水）10 時 00 分～16 時 30 分  
会場 地球環境パートナーシッププラザ（GEOC） セミナースペース

#### 4. 情報等の収集・発信

■業務内容

ESD 活動実践者に対し、国内外の ESD 活動に関する情報を収集し発信するとともに、ESD 活動に関するプログラム・資料等を収集し、求めに応じて提供する。

■ESD 推進ネットワークの目標等における本業務の位置づけ

目標 1 情報

成果目標① ESD 活動支援センター（全国・地方）が収集、整理、蓄積、共有する情報が ESD を深めるために（質的向上）、また広めるために（量的拡大）、有用なものになっている。

(1) ウェブサイトの運用等

全国センターのウェブサイトと運用するとともに、サーバーなど 8 つの地方センターウェブサイト運用の基盤を整え、6月4日（月）までは5つ、6月5日（火）以降は4つの地方センターウェブサイトの更新を担当している。

8月には、ESDに関連する催事をカレンダー形式で掲示・公開する「ESD関連カレンダー」を新設、運用している。

平成30年度においては、関係省庁、全国・地方のESD実践者や、地方センターの協力を得て、以下のコンテンツでESDの実践や推進に役立つ情報の収集と発信を行う主に以下の運用を行った。

- ・「最新のお知らせ」
- ・「ESD関連カレンダー」
- ・「私たちについて」（ESD活動支援センターとは、センター事業、アクセス）
- ・「地方センター」
- ・「地域ESD拠点」
- ・「公募情報」（アワード・表彰、研修・交流）
- ・「教材・資料」（ESDとは、公式ドキュメント）
- ・「海外の動き」（2019年2月に公開）
- ・英語による発信（2019年3月に公開）

また、平成28年度に開設した、Facebook、Twitterの運用を継続した。

#### 全国センター発信件数

536件（2019年1月末現在）

参考：351件（2017年4月～2018年2月）

#### 全国センターウェブサイト アクセス数

ウェブサイトトップページアクセス数

トップページのみ：11,251件

すべてのページ合計：72,602件

参考：トップページのみ11,299件、すべてのページ合計45,160件（平成29年度）

#### SNS データ

##### ・ Facebook ページ

リーチ数合計：73,277（2019年1月末現在）

いいね数：473 フォロワー：530（2019年1月末現在）

参考 いいね数 360、フォロワー数 386（2018年2月末時点）

##### ・ Twitter

インプレッション合計：87,087（2019年1月末現在）

フォロワー数：97（2019年1月末現在）

参考：フォロワー数 65（2018年2月末時点）

## (2) ESD 海外通信員

国外在住のESD関係者に、その居住地を中心としたESD情報の執筆を依頼し、ウェブサイトで公開する。

今年度は、以下の国に居住する ESD 実践者・研究者、国際機関スタッフ等合計 8 名に原稿執筆を依頼し、ウェブサイトに掲載（予定）。

オーストラリア  
インド  
エクアドル  
フィリピン  
シンガポール  
スウェーデン  
タイ、等

## 5. ESD 推進ネットワークの構築

### (1) ESD 推進ネットワーク全国フォーラムの開催

#### ■業務内容

多様な主体が連携・協働していくために、ESD 推進ネットワークの主たるステークホルダーが一同に集い、ネットワーク形成の状況を共有するとともに、ネットワークが成長する機会として、ESD 推進ネットワーク全国フォーラムを開催する。

#### ■ESD 推進ネットワークの目標等における本事業の位置づけ

目標 3 ESD 実践の学び合いを可能とする重層的なネットワークを形成する。(ネットワーク形成・学び合いの場)

成果目標⑤多様な分野で ESD の認知度が向上し、また理解が進み、多様なステークホルダーの間で経験の共有、ESD 推進の協働・連携の関係性が形成・促進されるような学びの場が持たれている。

文部科学省、環境省とともに主催し、独立行政法人国立青少年教育推進機構と共催し、独立行政法人国立青少年教育推進機構から、会場の提供、広報協力及び人的協力を得た。また、今回初めて、後援、協力団体を得た。

- 主催 ESD 活動支援センター、文部科学省、環境省
- 共催 独立行政法人国立青少年教育振興機構
- 後援 日本ユネスコ国内委員会
- 協力 [五十音順]

一般財団法人北海道国際交流センター、一般社団法人環不知火プランニング、一般社団法人長野県環境保全協会、NPO 法人持続可能な開発のための教育推進会議、NPO 法人日本ジオパークネットワーク、大牟田市教育委員会、岡山 ESD 推進協議会、環境教育ネクストステップ研究会、北九州 ESD 協議会、近畿 ESD コンソーシアム、公益財団法人キープ協会、公益財団法人京都市環境保全活動推進協会、公益財団法人五井平和財団、公益財団法人水島地域環境再生財団、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、国連大学サステイナビリティ高等研究所、JICA 広報室地球ひろば推進課、信州 ESD コンソーシアム、新宿ユネスコ協会、地球環境パートナーシッププラザ、筑波大学附属坂戸高等学校、津山圏域クリーンセンターリサイ

クラブプラザ、独立行政法人国立女性教育会館、豊橋ユネスコ協会、日本ESD学会、認定NPO法人開発教育協会、認定NPO法人地球市民の会、認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会、藤クリーン株式会社、羅臼町教育委員会、立教大学ESD研究所

■日時 平成30年11月30日（金）13時00分～18時00分、  
12月1日（土）9時30分～14時30分

\*地域ESD拠点特別セッション

12月1日（土）15時00分～16時30分

■会場 国立オリンピック記念青少年総合センター  
カルチャー棟小ホール（定員300名）等

■開催目的

1. ESDに関する最新の国際動向、国内動向を共有するとともに、「ESD推進ネットワーク」のこれまでの到達点を共有する。
2. SDGs達成に向けた意識・行動変革を進めるESDという意識の共有をすすめる。
3. 「ESD推進ネットワーク」において重要な役割を担う地域ESD拠点の活動と可能性について、具体的活動事例に基づいた経験の交流を行うことで、地域ESD拠点間のつながりを深め、活動の深化、高度化を図る。また、地域ESD拠点の活動を学ぶことにより、地域ESD拠点への関心を喚起し、地域ESD拠点登録の促進を図る。
4. 分野、セクターを超えて多様な主体が連携・協働してESDを推進（質的向上・量的拡大）するために、お互いに面識をつくり、地域を越えて実践例をもとに学び合い、ESD推進方策について意見交換を行う機会とする。

■参加者 のべ369名

## （2）地域ESD活動拠点の形成支援

### ■業務内容

ESD推進ネットワークの形成に向けて、地方センターと連携して各地のESDの質的向上、量的拡大を牽引する組織・機関を地域ESD活動推進拠点（以下「地域ESD拠点」として登録する。

### ■ESD推進ネットワークの目標等における本事業の位置づけ

目標3 ESD実践の学び合いを可能とする重層的なネットワークを形成する。  
（ネットワーク形成・学び合いの場）

### ① 共催・後援・職員派遣

全国各地で開催されるESD関連催事について、後援名義の承認を行うとともに、広報活動に協力する。後援名義使用の承認について一元化した手続き方法について地方センターと合意し、全国センターにて、地方センターの後援名義承認についても地方センターとの連携のもとに事務手続きを行っている。

件数 62件 （2019年1月末現在）

参考：47件（2017年4月～2018年3月）

## ② 地域 ESD 拠点登録業務

平成 29 年度に ESD 活動支援企画運営委員会の指導助言及び地方センターとの意見交換等を踏まえ、地域 ESD 拠点について基本的な情報・手続きの整理を行い、平成 29 年 11 月に、地域 ESD 拠点の登録を開始した。

これらをもとに、平成 29 年 11 月から、地域 ESD 拠点登録業務を地方センターとの連携のもとに開始し、平成 29 年度末で 27 件の登録だった。

2019 年 1 月末現在、地域 ESD 拠点の登録は 67 件

## ③ 地域 ESD 拠点への年次アンケートの作成

平成 29 年度アンケートの実施、取りまとめ、  
平成 30 年度アンケート案の作成

## (3) ESD 推進ネットワークの可視化に関する意見交換会の開催

ESD 推進ネットワーク可視化協力団体（全国を対象とする「ESD」推進団体）の他、ESD 活動支援企画運営委員会委員、ESD 推進ネットワーク可視化タスクフォース検討委員、地方 ESD 活動支援センター、文部科学省、環境省を招いて、以下の会合を開催した。

### ■催事名称

持続可能な社会を担う人づくりに関わる活動の緩やかなつながり  
-ESD 推進ネットワーク可視化報告・交流会-

### ■日時 平成 30 年 10 月 17 日（水）13 時～15 時

### ■会場 地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）セミナースペース

### ■目的

- ・ ESD 推進ネットワークの可視化の意義の共有
- ・ 平成 29 年度 ESD 推進ネットワーク可視化（全国を対象に「ESD」を推進する組織・団体対象）（平成 30 年実施）結果報告
- ・ 組織間交流（互いの活動を知り、連携方法を探る）

## (4) 特定テーマに係る意見交換会の開催

消費者の賢い選択と ESD について、以下、2 回開催（予定）

2 月 25 日（月）

3 月 5 日（火）

## 6. 年次報告書の作成

平成 30 年度の活動を取りまとめ、「ESD 活動支援センター活動レポート 2018-2019」を作成し、ESD 関係者 200 件に配布するとともに、8 箇所の地方 ESD 活動支援センターに各 200 部ずつ配布。（予定）